
デスレス
DEATHLESS
8
Eight
六道神士
Rikudou Koushi
YOUNG KING COMICS


吾のみ…
捕らわれしままか…
そうだ
四面八方突っ込み所ばかりで疑問を置き去りにしたままであったが
そも此処は一体全体なんなのか…



六道神士
Rikudou Koushi



デベレス
DEATHLESS
8
第四十九話
へいわなひとたち


——ミズキです
テリリリリリ
チッ
チッ
カチ
すぴぱー
緩んでます


ジリリリリ
どうやら私達は時を――
歴史を(っていうほど大袈裟なものじゃあないけれど)変えたみたいです
すぱらぴー
カチャ
あのあと私達はいくつかの事を確認しました
ニュ
ミュ
まず――少なくとも私達の身の回りについてだけでも――
何が変わっていて何が元のままなのか――



――結論から言うと
かなり変わっちゃったのかも…
曖昧な言い方なのは…
元の世界について
頼りになるのが
私達の記憶だけだから
細かくは覚えてないなー
オマエ現役の学生じゃろ
うう…
よくわかる歴史
日本近代史
ただいま
おかえり町内会どうだった？
ご近所の顔ぶれが2・3人知らないのと入れ替わってるね
判断に困る違いだなー
この狭い町内で2・3人も違うっちゅうのは相当な変化じゃないか？
そーかな


宇宙とかの例えがあるじゃない？
ロケットでまっすぐ飛んでいくのに元の角度がほんの0.1度でもズレたら到着時はものすごくズレてるって話
今の変化がこの程度で済んでるってこた大元の変化がごく小さなもんだったんじゃないかってことかい…
まあそういう考え方もあるだろうが…
変わってしまった時間
変わってしまった世界
そして…
スザクの考えた通り私たちが時の遣り取りをした相手だけが
変わらないまま
取り遺されたか取り遺したか——


わかったのは自分の行動さえ以前の世界と微妙にズレてるっぽいってこと
そしてその違いも私達の記憶だけが頼りだ
私たち…今まで何人か無関係な人の時を食べてるよね
みんなこんなふうに戸惑ってるのかな
ま…違和感どまりだろうぜ
事情を追っているオレでもまだこれが何かの錯覚なんじゃねーかって思ってってしよ
日記とかつけてないしねー
つけてたってどのみち自分の記憶と比べてんだろ？
今まで食ったパンの枚数なんざ覚えてねーってヤツだ
んぐ



気の利いた例えだな
パンか…
シャレになってないし
スザクはつかっちゃだめ
おめーらを実家の温泉に誘ったのは揃って落ち込んでたからだしな…
うざいのに
パパに会うためじゃなかったのかい!?
そんで行ってないってこた大町もミズキも落ち込まなかったってこったろ?
――うん…大町のお母さまは生きてるし……
私が落ち込むこともなかったんだよね…
「矛盾」が沢山湧いてくる…
そして一番変化したことは…


諸悪の根源の消滅
ヤクザを使って宮森家(ウチ)を地上げしようとしたり
おかしな術やバケモノを使って襲ってきたりしていた…
「実済智(みずち)の光」っていう宗教団体が消えた
いや…最初から「なかったことに」なった



教団もだが…結局あの教祖は何者だったんだい
相当な術者ではあったようだの
スザク毛嫌いしてたよね
とかく気配が好かぬ
あれは傀儡師の類だ
カイライって傀儡政権とかのカイライ?
自身は表に立たず術をかけた死体を遣うたりする性の悪い連中よ
どうやってかフクウも操られておったようだの
あやつを恐れておったわけだ
ウキュ
ギュ~
あとは生者であっても素質のあるものであれば操ることが可能であったようだが…
ああ…
延寿
アンタぁそのご本尊サマと話したんだろ?
ああ あの子ヘビちゃん?
まだ生えてなかったけど
なんの話だい


その子ヘビのツラを拝んだのはアンタだけなんだよ何かわかんないのかい
カンノン様
んー…拝んだっていっても真っ暗だったしー
昔の僕ならまだ何か暴けたかもしれないけどね
不敬なり！
あるじ様は…
至高の存在！
かるめんしーた
どのようなことになろうともあるじ様がわたくし達をお見捨てになるわけがありません
ご飯の時間はまだでしょうか
キサマそろそろ帰れ
ゴゴゴ


お金なら払うと言っているのに感謝まで欲しいのですか！
帰れ！
狂信者はお気楽ですね
ゴンッ
私なんて…
ゴゴゴゴ…
知り合いに連絡がついても…相手が私を知りません…
自分の身元すら分からなくなりましたよ
素人不孝自慢
カーン
私達を曖昧な現実に置き去りにして
知るかだいたい
なんであなたがここに!!
キサマが言うな私はだいたい
膨大な矛盾を遺したまま
なんの実感も無く
もとの世界は消えた
宮森家への地上げがなかったことになってるってことは…
じゃああの私を刺したヤクザのひともここには来なくて…
カマドさんに喰われなかったってことかなあ



時を食べただけじゃなくスザクやカマドさんが喰い殺した他のひとたちは…
どうなったんだろう
この世界の私達は…誰かを殺したのかな
曖昧になった「罪」の行方——
そして色々なことが変わっているのに
…?
わっびっくりした
?スザクさんですね
どうしましたこんな往来で
人に見られてしまいますよ
この世界の大町もこのスザクを知っている…


つまり…この世界の私も――
――どうにかしてスザクと出会っていたっていうことだ
ん…
いや…なんでもないみたい
んでもまなんだかんだで――
とりあえず問題は全部消えちゃってるんで
緩(ユル)んでます
す


吾の名は
スザク



如何ほどかは覚えておらぬ程の往昔…
ものごころ就いたとき既に人間の時喰らう魔物であったものだ
シャカ
シャコ
お早う
お早うさん
トンッ


――これだけ生きて
初体験づくしとは贅沢なことだ
フクウを…切り離した
ちょっとコツがわかってきたっていうか…
コツと言うたか
ここにね
此処？


何人も・・・・いると すっごく 落ち着かない かんじになるの
……
待て… まとめるとだな
此処に ミズキ殿と 吾とフクウと… あの鳥の 4人がおった
既にその時点で 不均衡な 状態であったと?
うん あれ以上は ムリだったね
つまり ミカサ殿を 取り込むと 定員オーバーに なるので
フクウを 切り離した…と
そうそう


でも思ったより お婆ちゃんが おっきくてねー
大きい…？
イっちゃいそうで 危なかったー
能力か… 精神そのものの 大きさのことか？
ま… 感じ方の 表現なのだな
そして…
結局ミカサ殿も 切り離した…と
ミカサ殿も フクウももう ここにはおらぬ
以前のように 繋がっておる 気配もない…


完全に切り離したのだな
うん
いつの間にそのような事を…
あの子を取り込んだり切り離したりしてるうちに…
だんだんわかってきた
あの鳥か…そういえばあやつは繋がったままだな
あの子・・・軽いから…
・・・・・・もうほとんど残ってないし
……
いつの間に…ミズキ殿…
もはや吾らとは観ている視界すら違うのか
……でだ
で？


ズイ
吾は切り離せぬのか
ん…と
吾を切り離さぬか
えーと……
バタ
バタ
バタ


実は何度か試したんだけど…
なんでかどーしてもムリなの
……ま
予想はしておった
くく…
これだけ年月を経た身ではちと気恥ずかしいの
人間ならば大抵盛りの付く前には卒業する悩みと聞くが
ザア…
今更――
己が一体何者なのかなどと…


あのとき…
ミズキ殿が必死であの「手」を虚空へ向けなんだらなにが起こったのか
ミズキ殿という箍がなくなれば
なにが起こるのか
例えば周囲のものを喰らうのか
森一つ喰らえば止まるのか
山一つ喰らえば満足するのか


そして
その先は？……
此処は同化した
外界のもので
溢れるの
だろうか
手がかりは…
我らはひとでないものの総代
この地に眠る「羅睺」の番衆
らごう？
吾の視たあやつ……慧来の記憶に出てきた言葉だ
「羅睺」……かな？
インドの神話に出てくる神様の名前だと思う
しらべてみよう
どんなヤツだい


やっぱ このへんのモノは 時代や宗教によって 呼び方や来歴が 微妙に変わるなー
元ネタは ヒンズー教か もっと昔の 原始宗教かって… あまりはっきり しないし… でもま
ようは天体の「擬神化」だね
擬神化？
太陽や月なんて 世界中で「擬神化」 されてるでしょ？
まあ… 言いたいこた わかるよ
アポロン 私はデュポンの…
紳士は 大昔から 概念で遊ぶのが 好きなのさ
わかった わかった
だから なんの星の 神様なんだい
んー 天体っていうか 天体現象かな


羅睺っていうのは「日蝕」や「月蝕」の擬神化なんだ
神話では飲むと不死になる命の水(アムリタ)を飲んで神に首をはねられちゃう
でも不死身になってるから首だけになっても死なずに神を恨んで天に昇り…
太陽や月を飲み込む
凶兆の星になった
天地凡て(あめつちすべ)を喰らう怪物——


確かめてみるわけにもゆくまい……
……
──唯一
事情を識っておったであろう・・・手がかりも消えた
だがしかし…そうだ
消えたのだ
脅威も
大祅も
罠も
比喩でなく・・・時の彼方へ
力ずくで消しとばした



ゆるりと過ごせばよい
大過なく平和に過ごせば危険な力を使わずともよいのだ
面倒事は回避すればよい
気の置けぬものどもと生きてゆこう
今はまだ脆弱なミズキ殿の精神も時を経れば大悟へ至ろう
そう…時だ…
「時」はいつでも吾の味方であった


――とまあ
現実逃避は
このくらいにしてだ
ぴし



先日とて終わってみれば結局問題を先送りにした挙げ句後手に回って解決の手がかりを失っただけのこと
ゆるりと過ごしてどうする
明日起ころうが100年先に起ころうが永遠を生きる吾にとっては同じ災厄でしかない
このことで時は吾に味方せぬ
吾は死を厭わぬが
生きておるのは愉しい
だいたいミズキ殿の精神が成熟するまでなにも起こらぬとは限らぬ
なによりあやつらだ
なにが「ひとでないものの総代」だ
吾らが災厄でやつめらが「星守」だったとでもいうのか


ならば…
吾の感じた
あの凄まじい
「悪意」は気のせい
だとでもいうのか
宮森の者達は
ミズキ殿の
消滅を意味する
「羅睺の誕生」を
赦すまい
ならば吾は
吾は何者で
なんのために
おる者か
ん…
あ
おはよ
スザク
ムニャ
おはよう
ミズキ殿



うわ 屋根？
どういう散歩？
今何時？
朝飯はまだだ
朝ご飯たまにはパンがいいなー
ヤ
早起きするのではなかったのか？
うん…
サボってた分教授たちにいっぱい言い訳してレポートやらなんやら大変だし
んー
今日はみっちり1限から6限まで講義が詰まってるし
そろそろ少しバイトしないとお小遣い無いし
——それに
色々調べたり鍛えたりしないと…
・・・そういうの全部ムダになっちゃうかもしれないしね
もはや吾が身は森羅万象（そういうの）を滅ぼす羅睺（らごう）の一部…



第49話／完

羅睺の春秋



デスレス

DEATHLESS



ギィ…
ソロー…
ソロ…
えいっ




誰!?
……誰?
だれ?
なによあなた!延寿はどこ!?
あ~
また延寿お爺ちゃんの…
情人か
ア…


ドタドタドタ
……
延寿は下の階なの？
昨晩とはまた違う女御であったの
ふわ
色々あったからおとなしかったのに…ここ数日ひどいね
なんでいつもへやまちがえるんだろ
最近はボブの女が多いのです…
好みかわった…
あんた…それでいいの？
延寿様のフトコロは一人で足りるほど小さくありませんし オンナは恋敵ではないのです
なんだか延寿様ちょっと荒れ気味なのです
掠われたりしましたから仕方ないのかもしれませんが
一応心配してるんだ…
いえ荒れた感じもゾクゾクするのでそれはそれで
秋葉は延寿様の基本ケダモノなところにも濡れちゃいますしたまに3Pとか愉しいですし
…なにここ修羅の家？
さんぴーとはなんだ


つかあんたも
何当然みたいに
あん
あん
つれないのです
あー
もー
スザク
たっち
うむ
やれ賑やかな
ことだ
ねむい
ほんと…
私
弁護士になっても
お爺ちゃん
無罪にできる
自信無いなー
自ら罪を被る
女が山ほど
いるのでは
ないか？
それも
そうかも…
うゅ
ドタ
ギャアア
バチィィン
バタン
また下で
何か…
関わるまい
グー


第50話 とじこめられたひと


「で
延寿の莫迦は
また
「そのまんま――」
かい
しばらく
帰ってこんで
ええわい
ひとばんじゅう……
まったく…
迷惑な話ですよ
あの女ア…
勝手に部屋を
間違えた
うえに…
あーゆー
化粧臭い女は
好みだろうがよ


わたしは生憎Mではないッ
だいたいあんな女が好きに出入りできるなんてこの家はどうなってるんです
貴様が言うな
流石に哀れと思って客間貸してやってんだ
ゴゴゴゴ
それだけでも有り難いと思いな
まったくだ
ギリ
ガッ
ち……
屋根があるだけ有り難えじゃねえか
すみませーん
あれにくらべりゃよ
…ふん
お水道を貸していただけませんか


ヘーイ
ヘーイ
エクスキューズミー！
LOVE♥愛の園♥
水は全ての生命の源です！
水の星に
アイラヴュ
水が無いことは首が無いのとおなじ！


池の水でも汲んどれ！
というか帰れ！
お金なら払いますが
自宅で水道水を売る仕事って自宅警備員にとって理想的ですよね
産業革命
ストレッチ
グキ
やかましい！
だいたい居着いていいなんぞ一言も言っとらんわい！
グキキ
乙金
しかしおトイレくらいは貸していただかないとそちらにご迷惑が
ひとの話を聞けい


あるじ様の手がかりを得るにはこちらに張り付いているのが1番なのです
わしらの知ったことか
……？
ジロ
ジロ
ジロ
ジロ
今日はおチビさんが張り付いていませんね
どちらへ？
それこそキサマらの知ったことか！
わたくし以前不空はてっきり喰われてしまったものとばかり思っていました
いつの間にか手懐けていたときには驚いたものです


……ふん
そういえば最初にアイツをけしかけてきたのはキサマらじゃったな…
ええですから
ぶっちゃけ驚いています
あるじ様でもあれをねじ伏せるのは面倒臭く感じておられたくらいですのに
あの猛獣を
どうやって手懐けたのか――


知るか！
アイツのことはキサマらの方が詳しいんじゃろうが
ええ勿論
……
交換条件ということで
…ふん
ええじゃろ
ズルズル


あのチビちゃんが今朝からいない？
まったく延寿といい…
しかしまあ…縛り付けてたものもなくなったんだし
命令を無理強いしてた敵さんも消えたんだ
元より義理のある仲でなし…
自分ちへ帰ったんじゃないかい？
アイツは…
どこから来たんじゃ
あれは——
もとは南方にいた「夜叉」でした



待て…「夜叉」ちゅうのは種族…とか種類とかそういうのか？
我々はあるじ様がそう呼ばれていたので倣ったまでです
わたくしも詳しくはないのですが
「夜叉」というのは…古い神話で「人も喰らうが御利益もあるよ！」とか
ドロロロローロ
「人殺しだけど悪いヤツじゃないんだぜ」的なそういうある意味よくある「鬼神」の名前ですね
その後仏教やらなんやら色々な宗教に取り込まれて意味が変わってしまったようです
なので余計にイミなし
ビシ
延寿が…「羅睺（らごう）」とかのことで似たような事を言っとったな
なんたらみょうおう
オンマユキラテイソワカ！


「不空」……これもあるじ様が名付けておられましたが…
そちらの「カマド」さんもご同類で
これらを総じて…「夜叉」と
我々は…「森に住む鬼」程度のニュアンスなのだと理解しています
しかしこちらにはもう一体夜叉が来たはずなのですが…
ミズキさんはなにやら別物のようですし…
そのへんはわかったわい
それでどうしたんじゃ
か弱き信仰の徒である我々は世間の荒波をかきわけるための実効的な戦力を求めておりました
その発想がもうか弱くないわい


全能たる
あるじ様は色々な
おかしな存在に関して
すばらしい知識を
お持ちでした
類友な
だけじゃろ
我々はあるじ様の
知識を手がかりに
それらを
探索したのです
ええい
その中のひとつ…
東南アジアの
某国のとある
無人島の近辺に…
今でも禁忌が
伝わっているのを
見つけました
GYAAAAAA…
「夜叉の領域を
犯した者は
老人になって
帰ってくる」と
老人に…
まあ……
そういう
分かりやすい
状況でしたので
我々はその島に
乗り込み——
ドドドド…
KILL!
KILL!

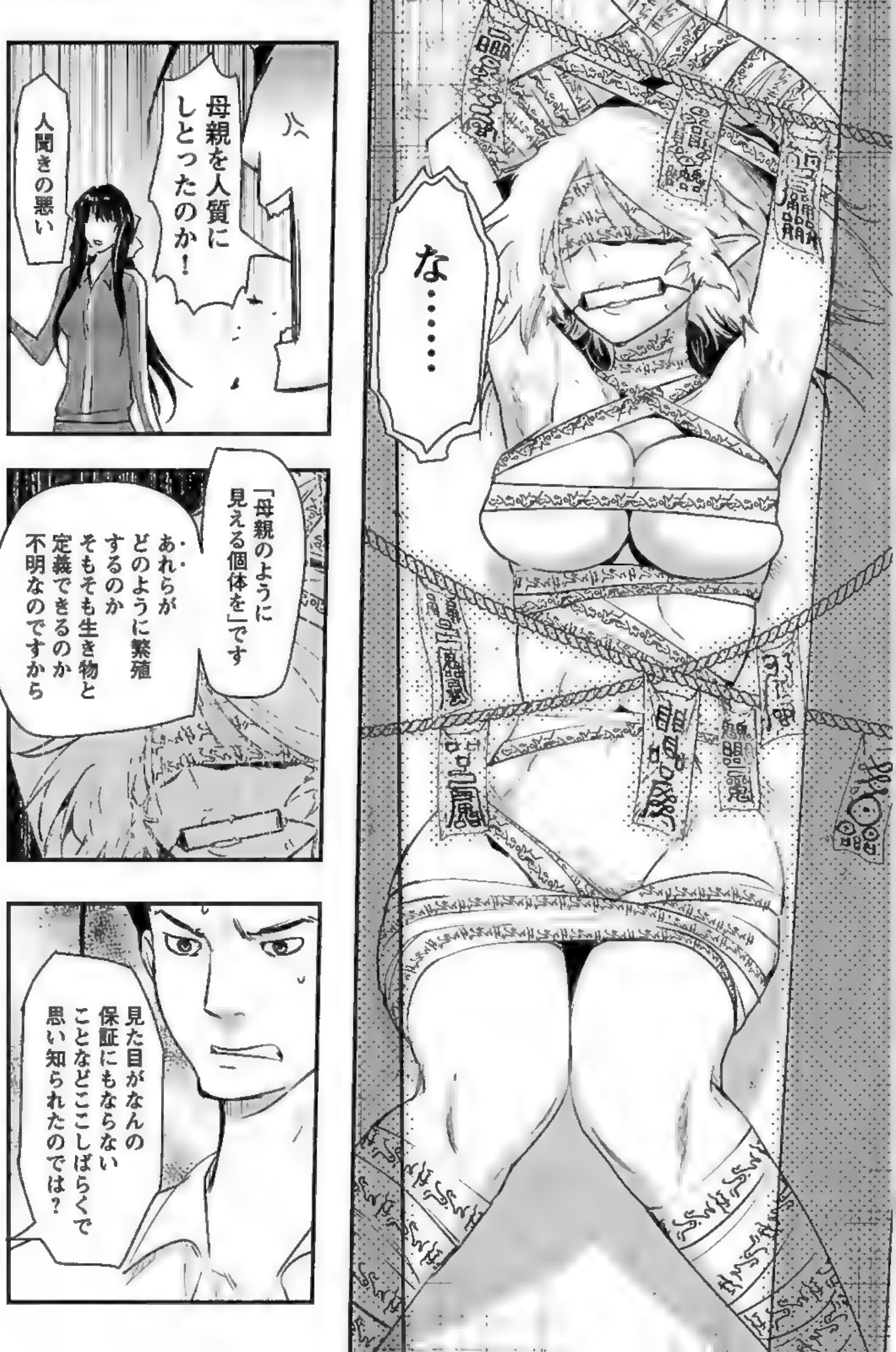

あるじ様の助成をいただきつつも数人の信徒を失い…
まあそのへんの紆余曲折は割愛します…
水はOK…と
チャプン♪
？
……
……これ以上のお話は追加料金となっておりますが
キュッ
——ともかく結果我々は二体の「夜叉」を捕獲したのです
フクにとっては迷惑な話じゃな


……ん？
二体？
はい
「不空」と「不二」
二体の夜叉を








な……
母親を人質にしとったのか!
人聞きの悪い
「母親のように見える個体を」です
あれらがどのように繁殖するのか
そもそも生き物と定義できるのか
不明なのですから
見た目がなんの保証にもならないことなどここしばらくで思い知られたのでは?


あるじ様が
憑依できるということは
人と似たかたちの
精神を持っているという
ことでしょうが
それで…
その母親は
どうしたんじゃ
さて…
行方不明ですね
なんちゅう
無責任じゃや!
と…
言われましても
中央主殿ごと
消えてしまっては
なんとも
…何もかも
消えてしまったのは
こちらの責任では
ないようですが?…
…くっ
あいつ…


こいつらの教団が無い歴史…ちゅうことは…
フク達が捕まらんかった世界で…
なら…アイツの母親は元の島におるんじゃろうな…
そうか…
帰るか…










ピヨ
ピヨ
ヨロ…
オフクロさんか…
…会えると いいのう
それにしても…


なぜか
喧嘩の気配が
するわい
第50話／完


ラジオ体操
究極の第よんー

デスレス

DEATHLESS


パラ…






第51話 ひきかえにするひとびと




ビクンッ
ひゃあん!?
ガタッ
は……
あ……


君…どうかしたのかね？
いえッ…その
虫かなにか…
アワワ
ちょっと失礼しますっ！
どうしたんだミズキは
必修講義なのになーんか帰ってきそうにねえカンジだな
まあそりゃともかく…
周りの男子がひどい有様だな
アイツ最近のてめぇの「威力」を自覚してねえな…
あとでセッキョーしとかねえと
ハッ
ハッ
おわぁ…


アイツの場合
コアクマどころじゃ
済まねぇっての
TOILE
バタン!
どうした
ミズキ殿
ハァ
ハァ…
単位が危ない
とかいう
授業では
なかったのか
ハァッ
…感じたの…
…何をだ?
なんかこう…
股間がすーすー
するカンジって
いうか…
女には
とうてい分からない
あの不安感
?
すまぬ
ミズキ殿がナニを
言っておるのか
さっぱりわからぬ
フクの悲鳴が
聞こえたような
気がして
不空の?…
ピッ
ピッ
スザクは
何も
感じなかった?
む…


吾はそのあたり鈍くできておっての…
ピッ
自宅
001
あ もしもし? お婆ちゃん? フクは――
…え? 延寿お爺ちゃんからの電話で武[redacted]お爺ちゃんが?
ハァ…
ハァ…


キュ…
ヒュッ
ゴォォ




スタ
スタ




ガキィ
ズル
フク！


ドサ…
この英迦もんが！
男児が
なにを簡単に
諦めとるんじゃ！
根性出さんか！


ギュニ
ギイン…
ゾク
カターン!!
ガバ
ーー!!


…子供を叱っとるようには見えんかったが…
なぜフクを殺そうとする?
……あんたアイツのオフクロさんじゃないんかい


斬りゃあせん 安心せい
街中で 真剣(本身)なんざ 持ち歩かんわい


!!
わかっとる！
心配するな
ただの木剣でも
ないわい！



W.C
イヤッ・・
トイレの使用権利と法具を…等価交換！
フン♪
……
ああ延寿から電話があったんだ
例の宗教施設のあったあたりでフクウをみかけたってね
ムサシのヤツぁ勘に響くとこがあったらしくて飛び出してったよ
ありゃ間違い無くケンカ…だね


おう…
厠と引き替えたワリにはよく通る剣じゃ
しかし…


決め手に欠ける状況じゃな
フクは逃げようとせんし…
!!
…!?
?
~~~~!!
単純にコイツを倒せばええという空気でもなさそうじゃが…
我ながら不器用で嫌になるわい
ドドドドン
~~~~


ゴガッ
フクには悪いが ぶっとばすしか なさそうじゃのう
動けんように なる前に 逃げてくれりゃ ええが……


速いが見失うほどではないわい…
逃げてくれんか…仕方ないのう
せめて足を狙うか


カク…
ゴヒュ…
……？
カク
ちょーっとまった――
やっほ――


お母さん(？)のひとー
フク？
延寿!?
って若返って…
なにをしとるんじゃ貴様は！
やほー
これいらないなら持って帰ってしまっちゃうよー
ははは
わきわき
なにってフクのこと知らせてあげたのもボクじゃんさ


…っ
丁度ええ！
危ないから
フクを連れて
逃げい！
いやいや
せっかく
おもしろそうな
手がかりが
でてきたからさ
ち…
延寿！
コイツ疾いぞ！


僕はね
手がかりが欲しいんだ


生まれて初めてイメトレとかしちゃったりして
ミチ…
ちょっと恥ずかしいけど
人生で初めて本気出そっかな


あ・い・つ・が・
ど・う・な・っ・た・の・か・
キミはなにか
知らないか?
第51話／完


ネニー

デスレス
DEATHLESS


あいかわらず武蔵は単純だね
わかってない


不二君…だったかな
カマドさんやフクウと同種の…「矛盾の妖物」である君も――
僕らと同じ…歴史の取り残され組なはずなんだ
その不二が不空を襲う
何者かに操られて
あいつの
手がかりに決まっている
ズ
ズ
ズ

第52話 執着するひとびと




あの坊主は「王の目」って言ってたね
当たってる
僕はね
他人が僕に跪かないなんて
許せないんだよ


「あいつ」だか
「彼女」だか
「なにか」だか知らないが
あの教祖――あんな根の深そうな存在が
この程度の歴史改変で消滅するなんてありえないね
必ず別のかたちで
がくがく
がくがくがく


僕ら・・に
干渉してくるに
決まってる
みつ…
けた…!


今度は…
ねじ伏せてみせよう…！






くくッ…
くっくっ…
ははは
あははははははは!
はははははははははははははははははははは


クックックッ
こりゃまた 盛大にフラれちゃったな
ねえ武蔵 思い通りにならないって楽しいね
はははッ
上からぬかすな！


特徴をお聞きするに…
わたくしどもが不空を操るため捕らえてド汚く人質にしていた「不二」に間違いないかと
ホッ
ホッ
自覚はあんだね
喋りますよー
この程度のことシャワーと引き替えならばんっばん喋りますよー
やっすいヤツじゃな
ビタ
ビタ
ビターン
ビターン


しかし なるほど…
その不二ってのが フクウやカマドさんと 同じ「時を喰うもの」なら アタシらと同じように 前の歴史を 引きずってるのは 説得力があるね
だがそれなら… フクウを攻撃する 意味が分からない
フクに聞けりゃ 話は早いんじゃが…
言葉が全く 通じないいん じゃあね
延寿!
はーい


すぴるー
いきなりムリヤリ元に戻さなくてもさ
ダメだ
…アンタやアタシは長時間若返ってちゃダメなんだよ
能力に引きずられちまう
それはともかくアンタは何か見えなかったのかい
マイッタ
マイッタ
うーん…口説こうとはしたんだけどね
自分から目を潰すなんて思わなくて
相手の意識をのぞいたんだろ？
…何も見なかったのかって聞いてんだ


…ああ
なんにも見えなかったよ
…そうかい
じゃあ結局なんでフクを襲ったかはわからずじまいなんだね
とりあえずウチの結界内にゃ入ってこれまい
まずは相手の出方次第だね…





ズズズズズ


朝のニュースです
──町にて昨夜以降マンションの住人全員が一斉に行方不明になるという不可解な事件が起こっています
──原因は不明で近隣に情報の提供を呼びかけており
──なんらかの組織的犯行の疑いがあるとして
未確認ですが近隣でも昨晩から帰宅していない住人が多いという情報も──
PONY


………
…甘かった
こいつは…まさか…
あの不二っちゅうやつの…
昨日の一件の近所だ…関係ないとは思えないね
おかしな話だが…今までのヤツらはあくまで目的が「うち」だっていう安心感があった…
だがこいつは今までと種類の違う脅威だ
受け身に考えたアタシの失敗さ
即決だ
全力で「捕獲」さもなくば——
待てミカサ!


ガラ
バカもんが…！
いや…
バカはわしらか…
無事でおれよ…



そうさ…舌の根も
乾かないうちに…
こりもせず
こんな姿で
バカをやる
はめになってる…
…なにかに
さそわれているのか？
全盛期の
アタシにならなにか…
覚えちゃいないが…
何かが見えた気が
する…
それこそ誰かの
思うツボなのかも
しれないね
ムサシ！
その道を
200メートルほど
いった先だよ



おう…
気配でわかるわい
結界…ちゅう
ヤツじゃぞ
これは
人の気配が
おらん…
…というか…
生きとる
人間が
おらんという
ことか…
人目を
気にすることは
いりそうに
ないのう
最近…
バケモノと
なれ合いすぎたか


あの…
アンタはガッコいきな！
今回はムサシで押せる相手だよ
アイツもだいぶカンが戻ったようだしね
あ…うん
ちと吾に懸念があっての
スザクさんかい
あれだけの人数の時を喰らったということは相当に大食らい…時を貯め込める性のようだ
つまり体調は万全…
その…不二とやらはムサシ殿と闘ったとき本調子であったのか？
？
つまりだな 不二が不空の母親…みたいなものであれば…


つまりは不空よりも強いのではないのか?
なにが言いたいんだい
であれば…
不二は・そ・う・と・う・なものだぞ
だろうね
だが今回のありゃあムサシのやつ かなり怒髪天にきてるよ


身内贔屓
てんじゃないが
怒ったムサシは
強い
……
あー
たしかに
キョーこわい
ムサシ殿も
そうとうなのは
知っておるが…
ふむ…
どのみち勝負は
おそらく一瞬だの




グラッ
ザラァァ…
フゥ…
ドラァァァ…


…フク
すまん…
!


替え玉…？
バカな！
手応えが…
！



第52話／完



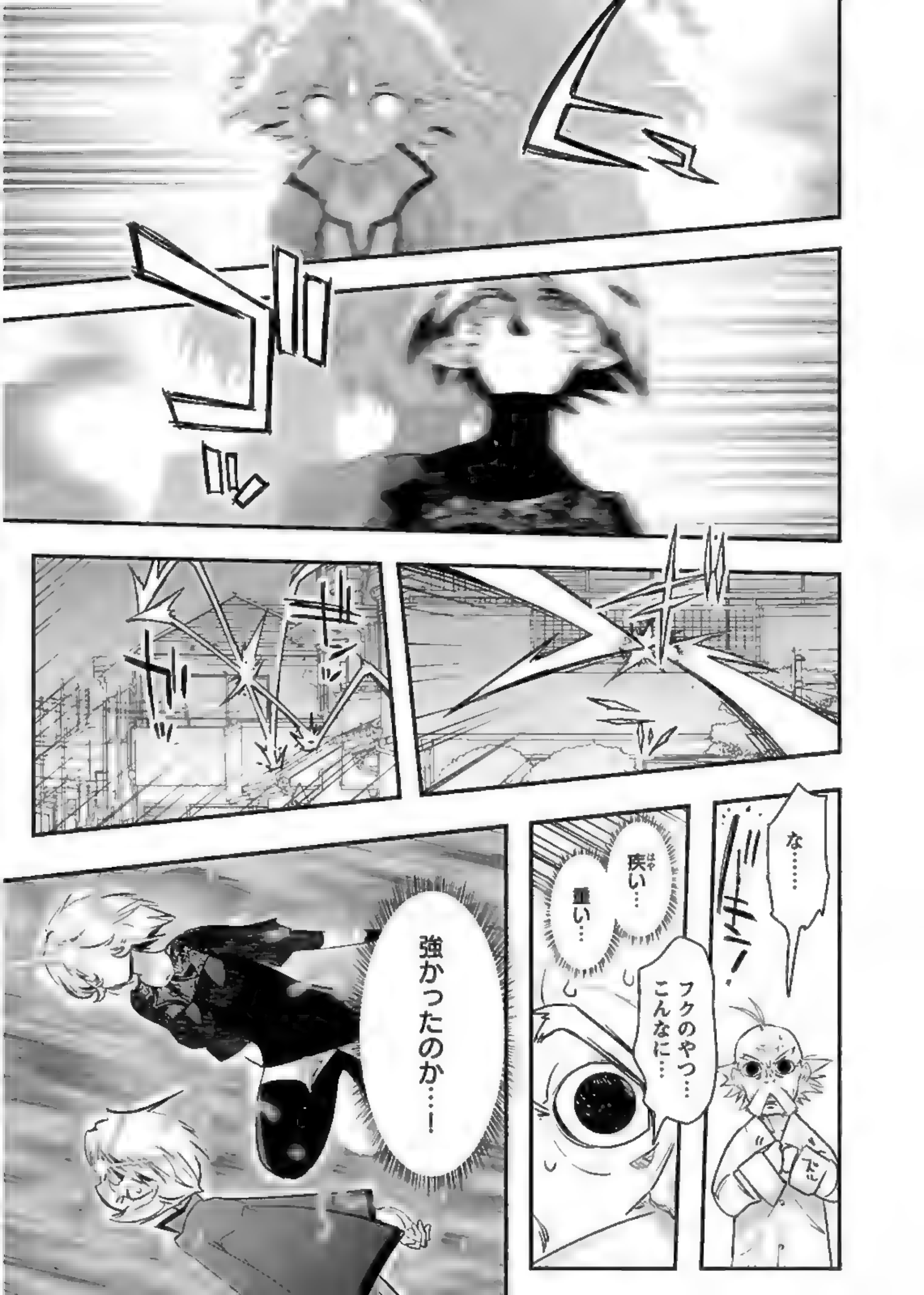
デスレス
DEATHLESS


痛ッ!?…
まずい!…
死…


ヒュ
ドガッ
フク!


第53話　まもりあうひとたち


フクか！
引け！そやつはお前の――
っ……


な……
フクのやつ…こんなに…
疾い…
重い…
強かったのか…！


見たところ互角…ということは!
よせ!フク!!
いかん…
いかんぞフク!それは——


昔のわしと同じ――
――あれほど
並みを外れておれば
いくら朴念仁の次男坊にでも理解できる
ミカサか延寿が犯罪を犯す気になれば――
あやつらがこの世の中を憎んでしまったらどうなるか――
修行するしかなかった
わしには剣しかなかった


あの姉と弟が ひとの道を 外れてしまったら そのとき――
――を殺して わしも死――
一番最初に自分の どこかを殺した あの目を――
わしは 知っとる!……
やめい! フク!
うおっ…
ちいと 元に戻った だけじゃと いうに!
なんじゃ… この重くて 鈍い体は…!
目が見えん… 息があがる…
ドクン
ドクン


元に戻っただけじゃと…
なんという…
なんという！
…よい機会なので聞いておきたいのですが――
なんだい
ここの夜叉たちはここに来る前はどうなさっていたのですか？
アンタに話してやる理由はないがまあ隠すほどのこっちゃない…
流れ者だって言ってたよ
…夜叉とは仲がお悪いので？
アンタとの関係よりは数等マシさね


ははあ…
まあ
わたくし個人の
認識というか…
勘違いかも
しれませんが
まどろっこしい
なんなんだい
………
…「むかし
おきな
ありけり」…
昔話が
したいなら
近所に児童館が
あるよ
いえ…例えば
そのような日本の
今昔話のみならず
世界のお話や
伝承においてですね
もとはただの
人間が年を取ったり
若返ったりする
お話は少なく
ないわけですよ


その伝承の大元に
カマドさんたち
みたいなのが
いたって話かい？
……かも
しれませんが
今言いたいのは
そういうことでなく
ほとんどの
「翁」は不幸に
なっていると
いうことです
なにものかに
老人にされた…
あるいは
若者にされた
から
「めでたしつるかめ
どっとはらい」とは
滅多につながりません
ひとならぬ
モノらにとって
人間の
時を奪う事も
与える事も
人間から
人生の尺度を
奪う行為なのです


だからなにが言いたいんだい
夜叉が時を「喰う」のは食事や防御攻撃であったりするにしても
あなた方にするように極端に若返らせるなどということは
「悪意」ではないのですか？
それは・・・かれらにとって罰…あるいは嫌がらせなのだろうと
・・・我々は認識していたのですが…
なるほどねぇ…
恨みを買った覚えのあるヤツの考え方だが…一理はある
フン


まあ確かに…
こちらの夜叉に
さほど敵対感情が
あるようにも
見えませんので…
必ずしもそうだという
わけではないので
しょうが
確かに…
あんまりだと
思いますよ
おや蚊の
遠吠えが
わたくしの
個人的な意見と
しましても…
ちょっとアレですね
ある年齢を境に
性質や記憶に相当な
変質が起こっている
ミカサ様はまだしも
フツーの
人間にとっては残酷
ええ残酷です


ただ一時的に
借りたものでも
かりそめと
分かっていても
無くなれば
「奪われた」と
感じてしまうのが
ニンゲンでしょう
不覚！
何故…
こんなときに
失う！
何故
今なんじゃ！
いかん！
これは
呪いじゃ！

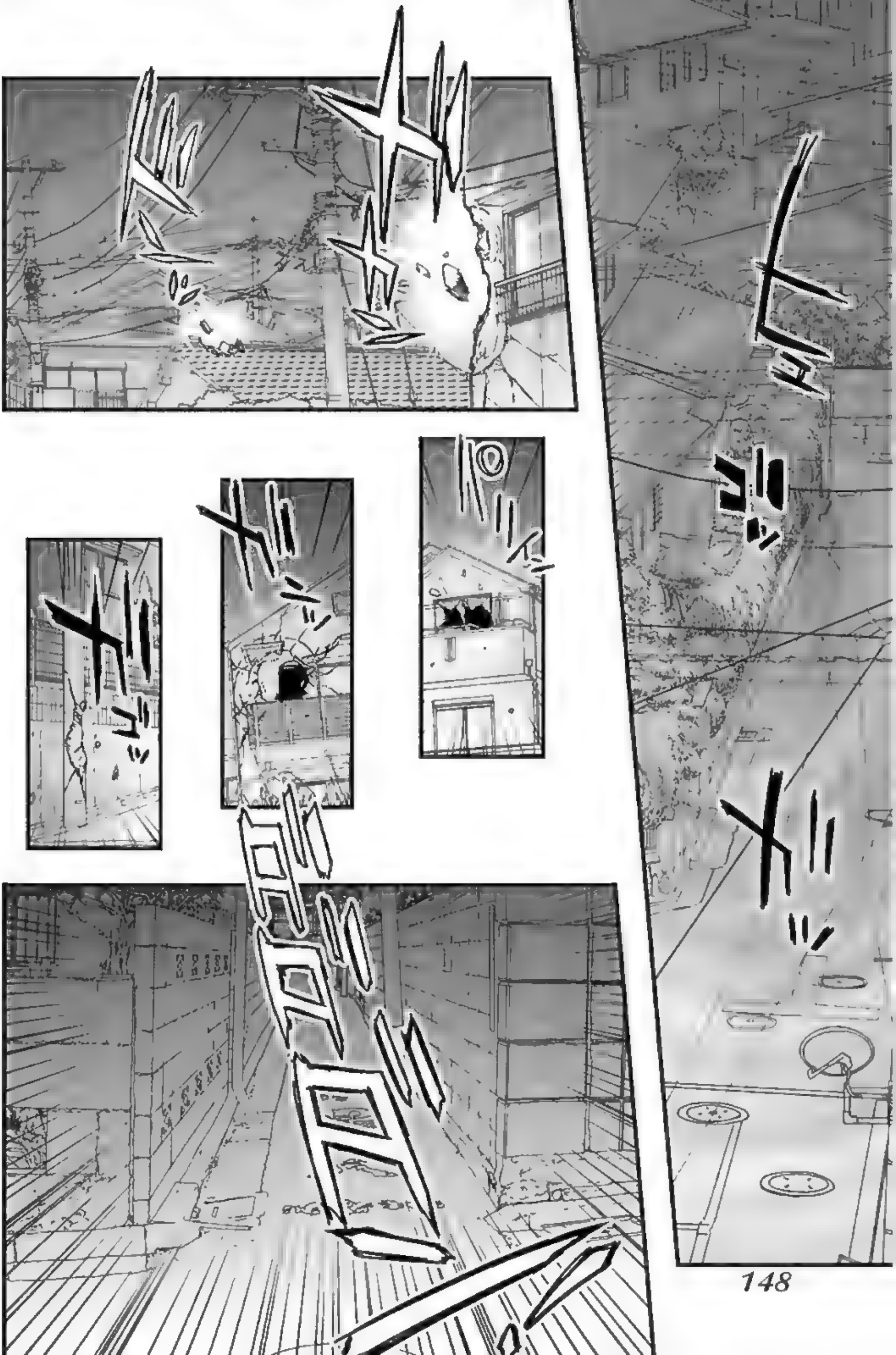

——力を
弱さが抱かせる
——若さを
悪魔の誘いじゃ
願ってはいかん!
この程度の老い…問題無いくらい鍛えておるわい!
ヨロ
もっとさ……
ゼェ…


かるーく
考えられないかな


武蔵お爺ちゃん


あのねスザクがマズイかもって言うから急いで来…
おっと
ムサシ殿あまり気は進まぬが力をあわせるしかあるまい
ぐ…しかし…
どのみちあれは放ってはおけぬし手強い
さっさと済ませようぞ
それとも臆したか
違うわい！
なんだか股間がスースーして落ち着かないし！
？
こんなときに何ふざけとるんじゃ！


フクウが 泣いてるからだよ
わしは ただ運良く…
自分の手を 汚さんで済んだ
わしが弱いせいで
ヤツの手が 身内の血で 汚れるじゃと？
バカもんが…
力を望むのが 罪じゃというなら
待っとれ
罰なんぞ いくらでも 受けてやるわい






オッ
キュッ
このバカもん!




自爆なんぞ百年早い！


ケンカの最中に
目をつぶるやつがあるか！
ゴォオ
ドッ！！


早々(はやばや)と終わらせるぞ！
う…うむ
ここが…
むぅ…
ミズキの…
今までここにきた中で一番堂々としておるの
大丈夫かミズキ殿
うん…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
武蔵おじいちゃんそんなに大きくないから…
まだ…余裕ある
ミズキ殿
うわごとでももう少しでりかしーを持ちやれ
ハァ…
ハァ…



おいキサマ聞きたい事がある
スザクでよい
じゃあスザク！
ヤツがいきなり速くなるあれ
ありゃなんじゃ
ああ…
「早回し」か
「早回し」…？
吾が身の内側の時のみを一度に大量消費する
文字通り体や思考を「早回し」するのだ


人間の数年分の膂力や早さを数日で消費するようなものと思えばよい
フクウは得意だったようだが…正直吾は下手くそだ
使う必要がなかったのでな
第一あれは時の無駄遣いにも程があるのだが…
満腹のあやつは迷い無く使ってくるであろうな
……
あれは単に「速い」というのとは違っちょった気がするが…
ま……ええ
しかしやれやれ折ってしもうた
あの女に嫌味を言われそうじゃな


……
なにをした
よくわからんが…
…できん気がせんかった
宮森の家のものはわけがわからぬ
ムダに鍛えた剣と思うたが
この時のためじゃったのかもしれん


さあ
ケンカじゃ!!
第53話／完


宮森
MIYANOMORI MUSASHI
of the FUSANT
武蔵

デスレス

DEATHLESS



身内の暴走に備えた
抑止力
万が一のためだけの
技
役に立たぬ事が前提の——
鍛錬
悟った振りをして老いただけじゃ
認めよう
わしは納得なぞしておらん
心のどこかで望んどった
存分な喧嘩を




第54話 重なるひとたち


フク！
ビクッ
貴様…
相討ちを
狙っとったな


バカもんが！
そういうの以外のケンカじゃったらいつでも受けて立ってやるわい
じゃから
わしを恨め






ん…
ゴキ
ちと疾かったか


呆れたものだ…
ふんふん
だんだんわかってきたわい
類い稀な剣士だとはわかっておったが…
この躰でいきなりこれか
順応性がどうのという問題ではないな…ミカサ殿のときといい…
やはり
吾とは
違うのだな






な…
今…
吾が同時に…
何を？……
ムサシ殿…
今のは？
わからん…
ヤツについて行こうと思っただけじゃが…
「早回し」ではない…？

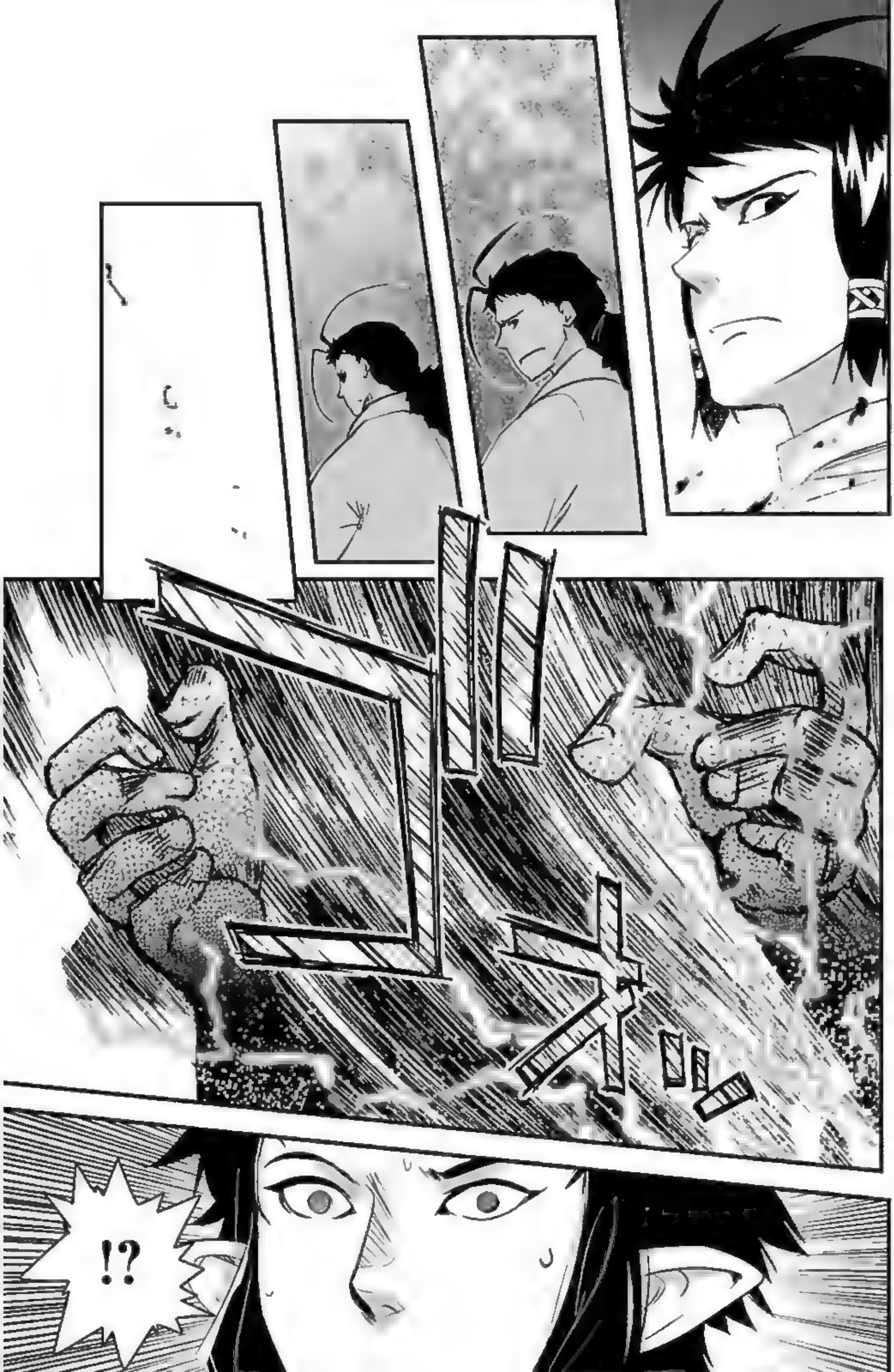

しかしこりゃ危ないわい…
ちと急ぐぞ
明らかにこちらが押しておると思うが…
むう…
ヤツのことじゃないわい
存分な喧嘩を！
わしが愉しすぎてまずいんじゃ



これが
わしが望んだ
――人外(ばけもの)の全力




バラッ…
バラァ…
ザァ
ァ
ァ




？
え
お
ちょっと待て！
ちっ
違うぞ
フク！
身体が
勝手に……！
おい
どうなっとるんじゃ！


ズズズズズ
えっ
ミズキ？・・・
おいどうなっとるスザク！
ズズズ
ミズキ殿？・・・
まるごと・・・
喰うつもりか？・・・
ズズズ・・・


やめよ
ミズキ殿！
さすがに
これ以上
定員を越えては
正気を失うぞ！
殺さないで…
済むかも…
うおッ!?
ギャアー！


ミズキ…
なにか手があるのか?…


人数減らしたから大丈夫…
無茶しおって
爺孫揃うて甘いの
でも…
ハァ
ハァ
このひと…不二さんって手がかり…だよね…
む
意外と考えておったのだな…
取り込んで…調べてみるよ…
どうにかなるんじゃったら…
頼む…ミズキ




ま…
どのみち無力化にはなるか…
取り込んでもそんなに負担にならないみたい


!?
え……?

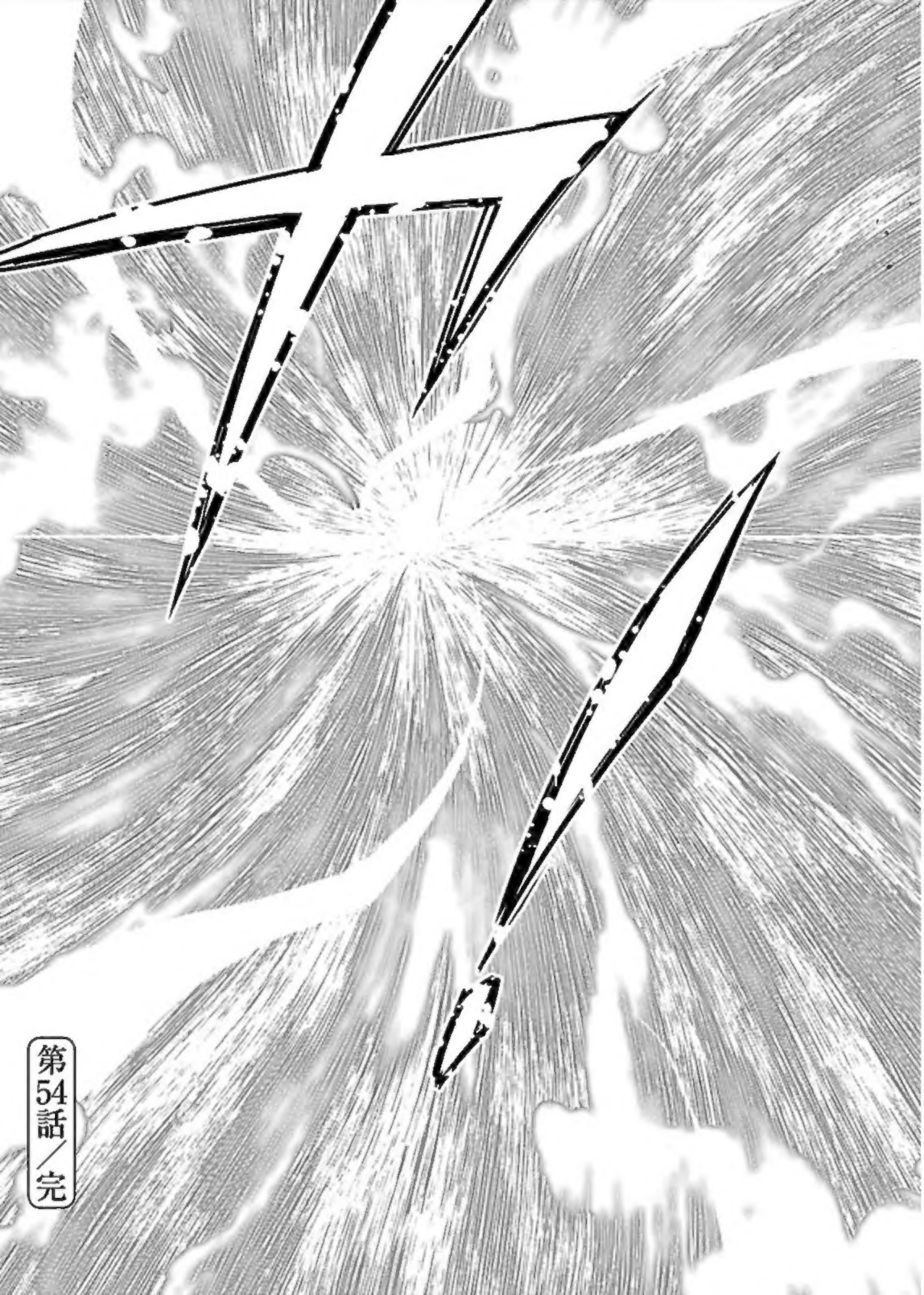




あぁあッ
ミズキ!?
ああ
ミズキ殿！
ミズキ殿！
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ


この流れ…
ゴゴ
やられた!…
罠…
ゴゴ
こやつは毒餌だ
何の毒だ!
何が起こる…!
!!


フクウと同じ……！
自爆か！
ゴオッ
誰かは知らぬが…
…やってくれる


第54話／完

デスレス第八巻

・製作
六道神士

・作画補助
木林田 ウナム
たけぽんG
春夏秋冬 鈴

・担当編集
筆谷芳行

（順不同・敬称略）



少年画報社
http://shonengahosha.jp

電子書籍版

デスレス

8

六道神士

©2015 六道神士／少年画報社